

三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型) [愛称:花こよみ] 投資国入替えのお知らせ

追加型投信/内外/債券

〈当ファンドの組入国について、イギリスからニュージーランドへ入替えを開始しました。〉

組入国入替えの理由

ファンドの利回り向上を狙ったものです。

ニュージーランド国債の利回り水準は、他の主要先進国の国債と比較して相対的に高く、足元ではイギリスよりも高い水準にあります。また、ニュージーランドの格付けは、ムーディーズ社(Aaa)、S&P社(AAA)とも最上位の格付けを有しています。(2010年12月末現在)

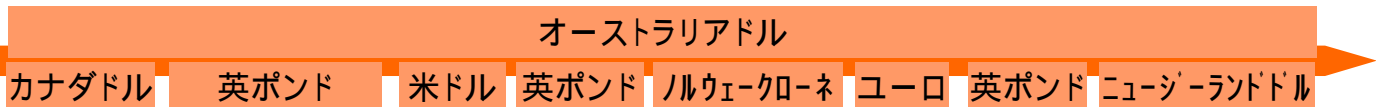
組入国入替えの経緯

今般、当ファンドの投資候補国となる「世界主要国」について見直しを行い、ニュージーランド(シティグループ世界国債インデックスの参考国)を追加しました。

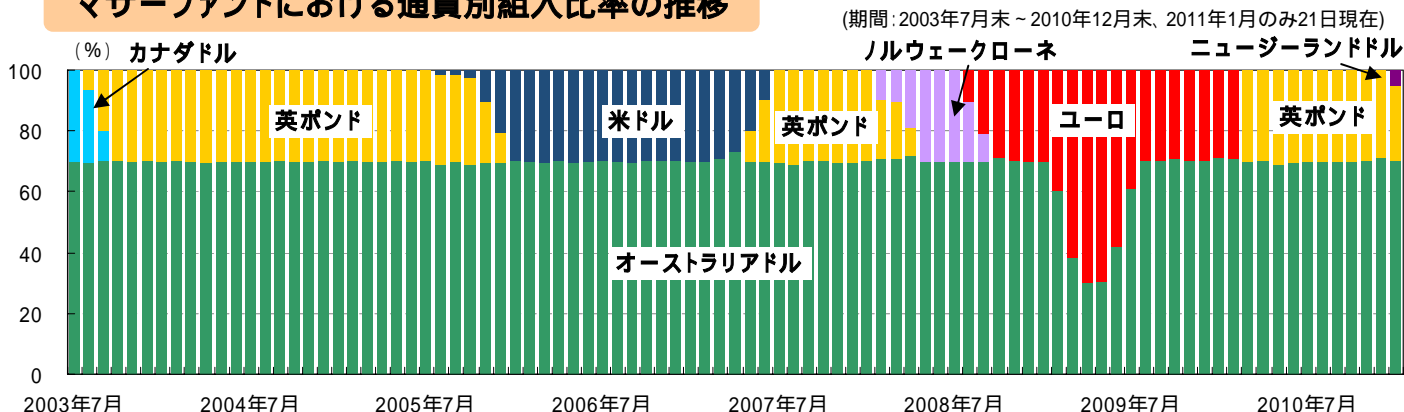
マザーファンドにおける組入通貨の変遷

設定来、2通貨に重点投資してきました。(投資国入替時には一時的に3通貨に投資)

(2011年1月21日時点)

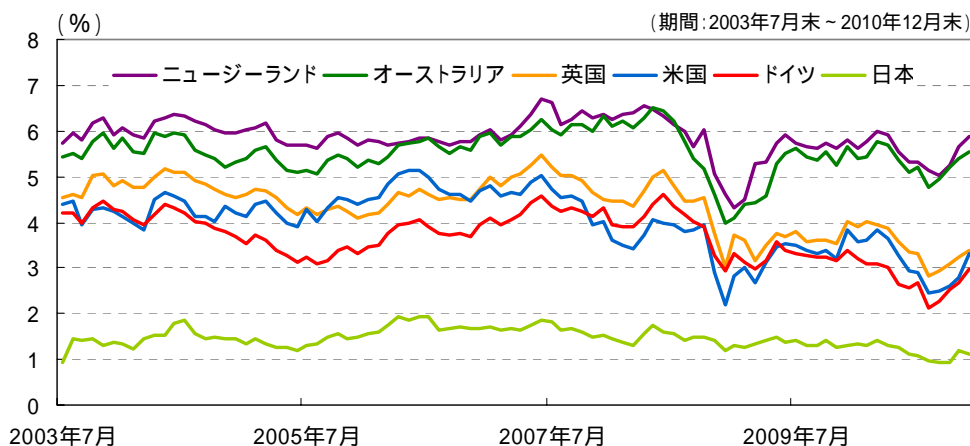


マザーファンドにおける通貨別組入比率の推移



ニュージーランド・オーストラリアの国債利回りは、他の主要先進国と比べ、高い水準です。

主要先進国の10年国債利回り推移



(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

・上記格付けは、自国通貨建て長期信用格付けです。今後、政治経済環境により格付けは変更されることがあります。  
 ・本見通し分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。  
 ・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

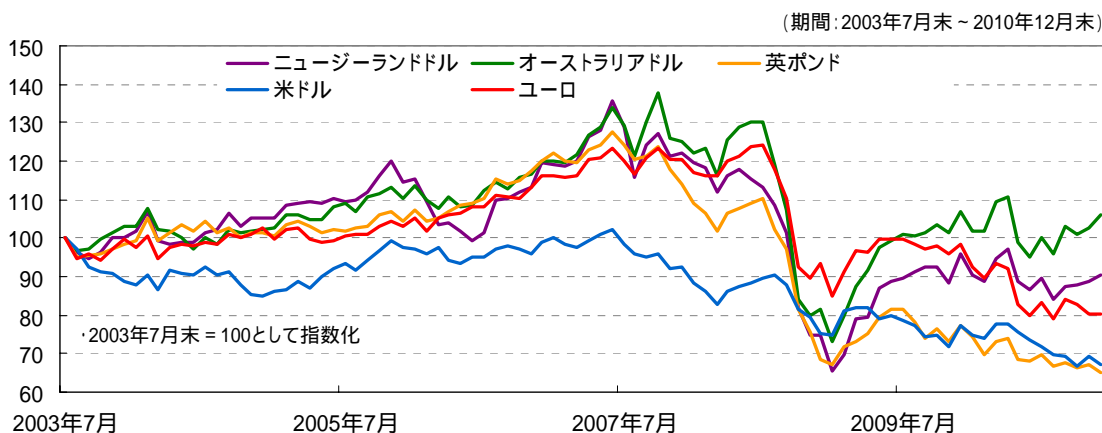
「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

## 【臨時レポート】

## 三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型) [愛称:花こよみ] 投資国入替えのお知らせ

ニュージーランドドル・オーストラリアドルはリーマンショックで大きく下落しましたが、その後他の主要先進国通貨と比べ、回復傾向が鮮明です。

## 主要先進国の為替推移



(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

## Q &amp; A

Q: 今後、どの程度までニュージーランドの比率を増やすのですか？

A: 足元では、市場規模等を勘案し、急激に比率を増やす予定はありません。しかし、今後の市場動向や信用力・市場規模の変化等があった場合は、比率を変更することがあります。

Q: 今後も投資国の入替えはあるのですか？

A: あります。

当ファンドは世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ相対的に利回りが高い国の債券に投資することにより、利子収益の獲得をめざすファンドです。したがって、投資国の利回りが相対的に低下した場合等には、投資国の入替えを行い、常に相対的に利回り水準が高い国の債券に投資することをめざします。

Q: 今後のオーストラリアドルの為替・金利見通しについて教えてください。

A: 為替については、中期的にオーストラリア経済の拡大は続くと思われ、利上げ観測は次第に高まると思われることから、オーストラリアドルは、対円で強含みで推移すると考えています。金利については、オーストラリア経済の拡大が持続するとみられる一方で、2010年12月の金融政策決定会合の声明文のなかでは、家計が消費や借入に慎重で貯蓄率が上昇傾向であることを指摘するなど、オーストラリア経済の先行きの見方は従来よりも慎重であり、金利は方向感の出づらいつながりがあると考えています。

Q: 今後のニュージーランドの為替・金利見通しについて教えてください。

A: 為替については、金利差を背景にニュージーランドドルは概ね堅調に推移すると考えています。また、昨今の世界的な食料需給の逼迫による価格上昇は、食料資源通貨であるニュージーランドドルに有利に作用すると思われます。金利については、2010年11月に発表された7 - 9月期の雇用統計において、失業率の低下幅や雇用の伸びが事前の市場予想を大きく上回ったほか、国内経済の順調な回復もうかがえます。また、インフレ圧力の上昇も見られることから、今後は金利への上昇圧力が徐々に高まる可能性が高いと見えています。

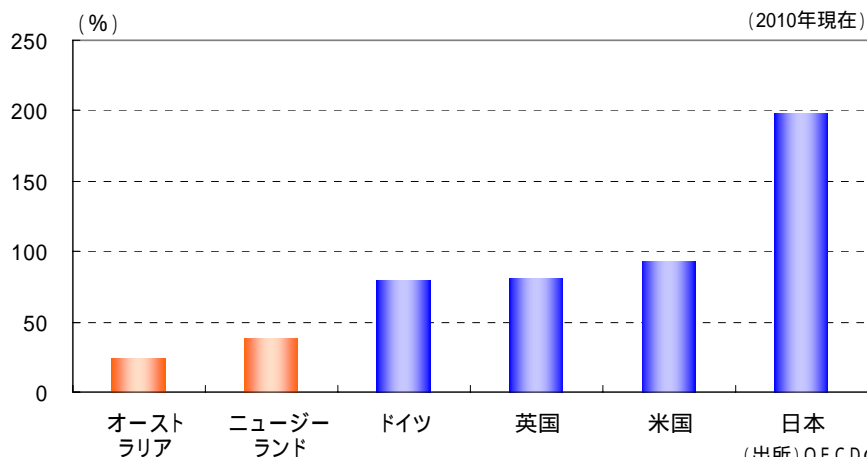
・本見通し・分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。  
 ・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。また、上記と異なる期間を対象とした場合は計算結果も異なる点にご注意ください。

「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

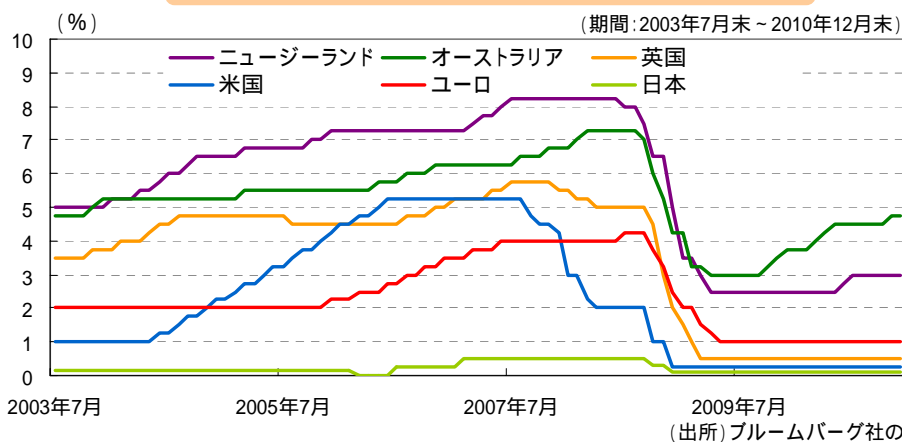
【臨時レポート】

**三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型) [愛称:花こよみ] 投資国入替えのお知らせ**
**【ご参考】ニュージーランドの経済環境**

ニュージーランドの政府債務残高は他の主要先進国と比較して低く、相対的に信用力が高いと考えられます。

**主要先進国の政府債務残高(対名目GDP比)**


ニュージーランドはオーストラリアと同様に、利上げを再開しました。

**主要先進国の政策金利の推移**


ニュージーランドの主要輸出産物である農畜産物や木材・アルミニウム等の価格は上昇しており、ニュージーランドの経済成長の追い風となっています。

**ニュージーランドの主要輸出産物商品価格指数(ニュージーランドドルベース)**


・本見通し分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。  
 ・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

## 三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)【愛称:花こよみ】

### ファンドの目的・特色

**ファンドの目的**  
世界主要国の債券を実質的な主要投資対象とし、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資することにより、利子収益の獲得をめざします。

**ファンドの特色**  
・主として、三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンドへの投資を通じて、世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資することにより、利子収益の獲得をめざします。  
・実質的な組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。  
・毎月の分配をめざします。

**< 主な投資制限 >**  
・外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。  
・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

### 投資リスク

**基準価額の変動要因**  
ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。  
したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

#### 市場リスク

(価格変動リスク)  
一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。  
(為替変動リスク)  
組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

#### 信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

#### 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

#### その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。  
・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

#### リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

**(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)**

委託会社(ファンドの運用の指図等) 三菱UFJ投信株式会社  
受託会社(ファンドの財産の保管・管理等) 三菱UFJ信託銀行株式会社  
販売会社(購入・換金の取扱い等) 後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 ...三菱UFJ投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会 (社)投資信託協会  
(社)日本証券投資顧問業協会



**三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)【愛称:花こよみ】**
**手続・手数料等**
**お申込みメモ**

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	1口単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	毎年復活祭(Easter Day)に該当する日の前営業日および翌営業日、毎年クリスマス(12月25日)および翌営業日は、購入・換金のお申込みができません。2011年の該当日は4月22日、4月25日、12月26日です。なお、休業日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	無期限(2003年7月9日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。
決算日	毎月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。

**ファンドの費用・税金**
**・ファンドの費用**
**【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】**
**お客さまが直接的に負担する費用**
**購入時**

購入時手数料	購入価額×2.1%(税抜2%)(上限) 販売会社にご確認ください。
--------	--------------------------------------

**換金時**

信託財産留保額	ありません。
---------	--------

**お客さまが信託財産で間接的に負担する費用**
**保有期間中**

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額×年1.155%(税抜年1.1%)
------------------	------------------------

その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用、外国での資産の保管等に要する費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
----------------	---

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限り、)には消費税等相当額が含まれます。

お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

**・税金**

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**当資料のご利用にあたっての注意事項等**

投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。/販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。/投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。/投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認ください。

当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。/当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。/当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。/当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

**(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)**

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**  
受付時間/9:00~17:00(土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.muam.jp/>  
<モバイルサイト> <http://k.m-muam.jp/a/1/3>  
基準価額・分配金をメール配信(\*メール配信対象外ファンドもあります。)



